


3 作画 動きの基になる原画を描く




▲キャラクターには細かい設定があり、その通りにキャラクターを描いていきます

絵コンテを基に、キャラクターの動きのポイントになる原画を描きます。その後、人物などの動きが滑らかなように動画を描きます。1秒間のアニメのために8枚以上の動画を描いているそうです。

2 演出 絵コンテを作る

シナリオができあがると、それをどのようにアニメにするかを考え、絵コンテを作ります。絵のイメージと動きを決め、セリフや効果音、音楽の入るタイミングも考え、楽しい作品になるように工夫していきます。


▼細かく演出が書き込まれた絵コンテに感心するジュニア記者



1 文芸 シナリオを作る

▲シナリオは、放送日に合わせて季節の行事などをテーマにした話が作られます

アニメ制作はシナリオづくりから始まります。サザエさんの場合は、原作の4コマ漫画を基にしながら、主役やテーマを決めて脚本家がシナリオを作成します。



ジュニア記者がエイケンを訪問

アニメの制作現場を見てきたよ!



区内にあるエイケンを第三瑞光小学校6年のジュニア記者が訪問。アニメの制作方法を教えてもらいました。



4 仕上げ パソコンで彩色して仕上げる

手描きの動画をパソコンに取り込んで細かな修正を行い、パソコン上で色をつけていきます。使う色はキャラクターによって決まっていますが、設定されていない場合は、全体のバランスを見ながら色を決めます。

▲サザエさんもキャラクターごとに色が決まっています。季節によって少しずつ変えているそうです

5 美術 背景を描く

▲「ぼのぼの」など最近の作品はパソコンで背景を描きます

背景はキャラクターとは別に作成されます。サザエさんは、昔からの雰囲気を変えないように今もポスターカラー(絵の具)を使って手で描かれています。背景は、アニメの世界観を表現する重要なものです。



6 撮影 素材を合わせて映像にする

キャラクターと背景を合わせて、映像にしていきます。この段階でようやく普段テレビで見ているアニメのようになってきました。昔はセル画を一枚ずつカメラで撮影してアニメを作っていましたが、今はすべてパソコン上で制作します。



アニメができる様子を紹介するよ!!

▲左から井坂陸くん、菊地アナスタシヤさん、長嶋一樹くん、佐伯果音さん

サザエさん1話に1300枚も動画が必要

アニメ好きのジュニア記者。アニメの制作現場を見学できるとあってワクワクしながらエイケンを訪問。社内は、演出家やアニメーター、美術、撮影、編集など、たくさんの方の協力のおかげで、静かに作品づくりに集中する張り詰めた雰囲気。ジュニア記者たちは、少し緊張しながら社内をまわり、アニメが作られる現場を見学しました。

アニメづくりの第一段階、シナリオ制作の部屋には、サザエさんの原作である4コマ漫画の本がたくさん。「見たことある!」とジュニア記者。今もこの原作を基に脚本家がシナリオを作っていることを教えてもらいました。また、アニメの原画を描く作業室では、アニメーターさんたちが、絵コンテに沿ってキャラクターや背景の線画を一枚ずつ丁寧に描いていました。サザエさんのアニメ1話分を作るために約1300枚もの動画が必要だと聞いて、ジュニア記者は思わず驚きの声をあげました。

「こまやかなプロの技が楽しい作品を支えている」

できあがった動画はパソコン上で彩色され、美術部門の人が手描きなどで仕上げた背景と一緒に撮影をして、少しずつ見えていきます。そして最後に放送時間に合わせて編集されてやっとアニメが完成。ジュニア記者たちは、「アニメづくりがこんなに大変だとは知らなかった」と驚いていました。

ゆいの森あらかわでの「エイケンアニメ展」では、ジュニア記者が取材したアニメの原画や、昔のアニメ制作で使っていたセル画、キャラクター設定などの貴重な資料をたくさん展示しています。みんなもなかなか見ることができないアニメ制作の世界を、ぜひ見に来てください。

防災部活動レポート

全区立中学校 9月1日、ゆいの森あらかわで「荒川区中学校防災部釜石市等被災地訪問報告会」が行われました。8月2、3日に各中学校から2名、計20名が参加した被災地訪問の報告や、現地で交流をした釜石東中学校生との話を発表。報告会では、写真や文章を盛り込んで作成した資料とともに、「震災、津波の恐ろしさを風化させない」とメッセージを込めたレポートを披露しました。

▲「自分たちにできること」を力強い言葉で伝えました



7 編集 放送時間に合わせて編集する

最後に、放送時間にぴったり収まるように時間を調整するとともに、絵コンテの演出に合わせて、面白くテンポ良く見られるように編集を行います。サザエさんが「えへへ」と笑う何気ないシーンも、気持ちが伝わるように、ちょうどよい長さに調整されているのです。

▼どこを削ってどこを長く見せるか。作品づくりの情熱に驚き

色々な人の努力で作られているのね

まちなだ

